

09-078

日時：2010/02/19(Fri) 18：30 ～ 20：00；京都保健衛生専門学校)

参加人数：50(42)人 分類：専-20

主題：輸血検査基礎勉強会

副題：カラム凝集法・マイクロプレート法の原理と特徴 講師：小黑 博之 先生（バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社）講師：古杉 光明 先生（オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社）講師：稲田 信彦 先生（株式会社イムコア）

輸血検査の標準化として、自動化が近年進んでおり、認定輸血検査技師の試験内容においても取り上げられている。

自動化のメリットとして、

- ・客観的な判定が可能
- ・再現性が高い
- ・操作が簡便

などがあげられる。

しかしながら検体の状態や各検査法の原理や特徴(抗体検出感度が試験管法に比べて高い、IgMの影響を受けにくいなど)を理解したうえで正しく操作する事が必要である。

今回は三社のメーカー(バイオラッド、オーソ、イムコア)にカラム凝集法(バイオラッド、オーソ)とマイクロプレート法(イムコア)のそれぞれの原理と特徴を紹介していただいた。

2010/03/23：相田 幸雄（京都南病院）